

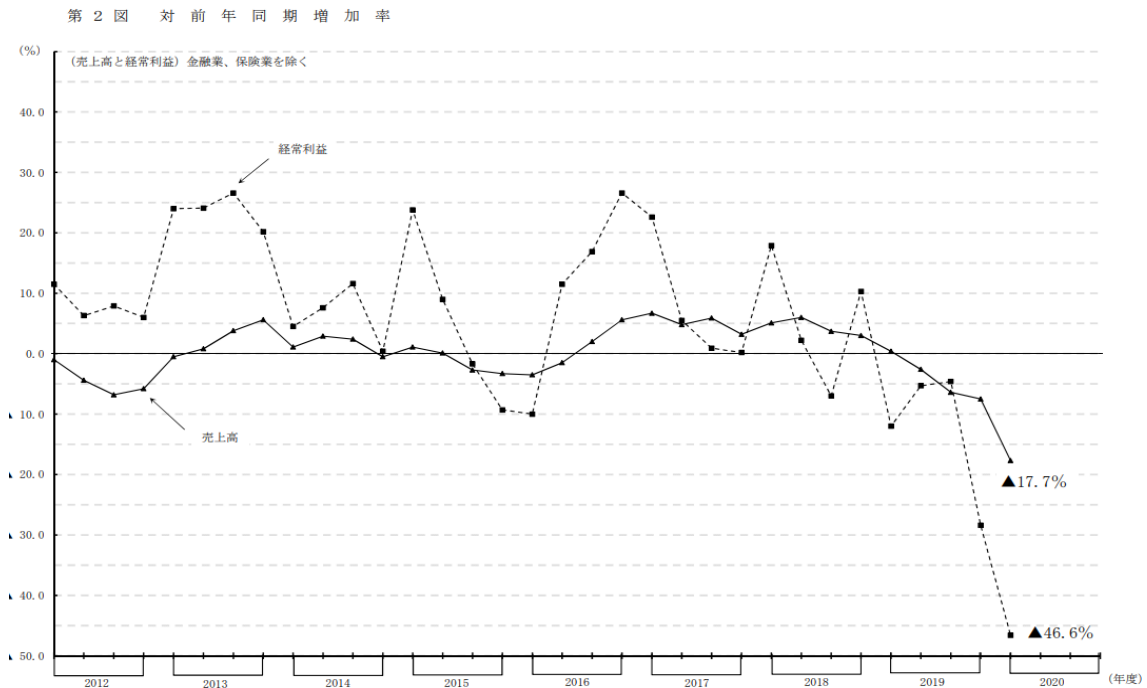
(令和2年11月09日)

< ワンポイントレッスン (理論・基礎知識) >
(法人企業統計)

年次別法人企業統計調査(令和元年度)の結果概要が先月10月30日に発表されました。昨年度は、前年度に比べて、▲3.5%の減収、経常利益は▲14.9%減となりました。またこれに先立って9月2日に発表された四半期別企業統計調査4月～6月は前年同期比▲17.7%の減収、▲46.6%の経常減益で緊急事態宣言など新型コロナ感染拡大の影響をまともに受けた形となりました。同7月～9月の統計は12月1日に発表予定。(また法人企業統計年報特集が発表されており、長期のデータが必要な時に便利です)。

マーケットは、上場21年3月期決算会社・中間決算の発表がヤマ場を迎えています。期初予想を増額修正する会社が多く、明るい方向に向かっているのは確か。ただし、グローバルには再度の感染拡大の動きもあり回復のベクトルと水準が気になる処です。V字型の回復となるのかどうか。今3月期上場会社の経常利益の落込みは▲35%程度が予想されています。「暴落の直後から次のコア銘柄が芽を出し動き出す」は現実になりました。「悪材料も姿が見えるとそこからは大きく下がらない」と言われますが、こちらは、現在進行形。新型コロナの収束が不透明の中、株価水準に収益が追い付くのか、注目です。

(売上高、経常利益の前年同期比、金融業・保険業を除く)



出所：四半期別法人企業統計調査(令和2年4～6月期) 令和2年9月1日 財務省